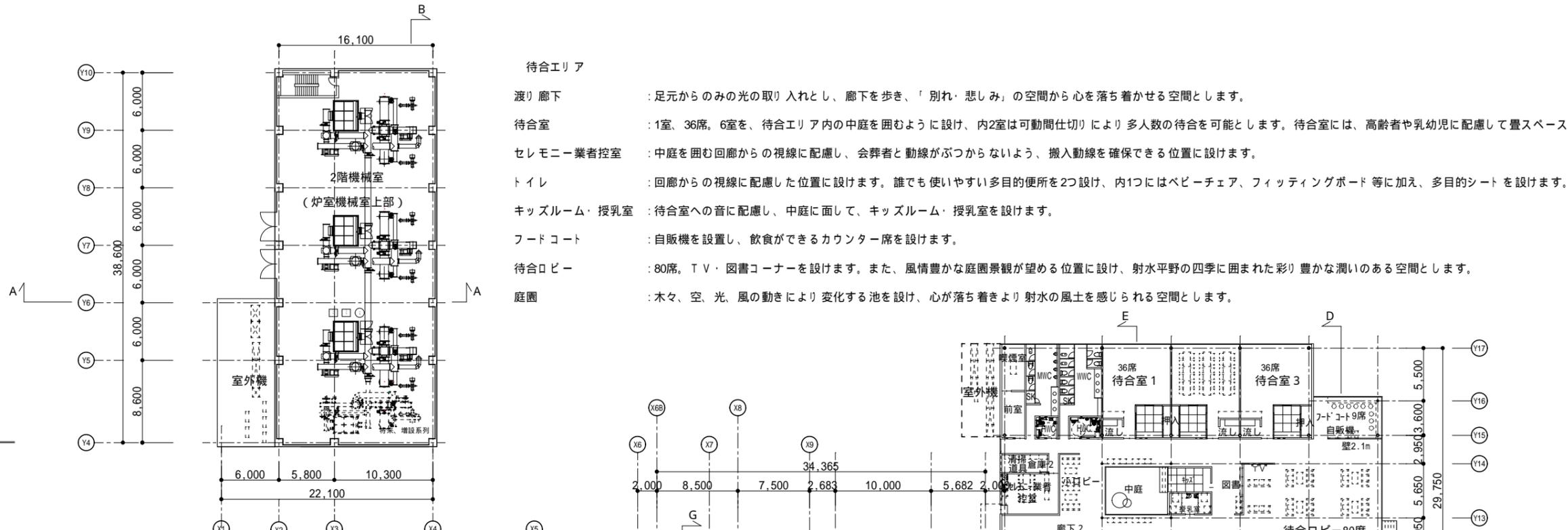
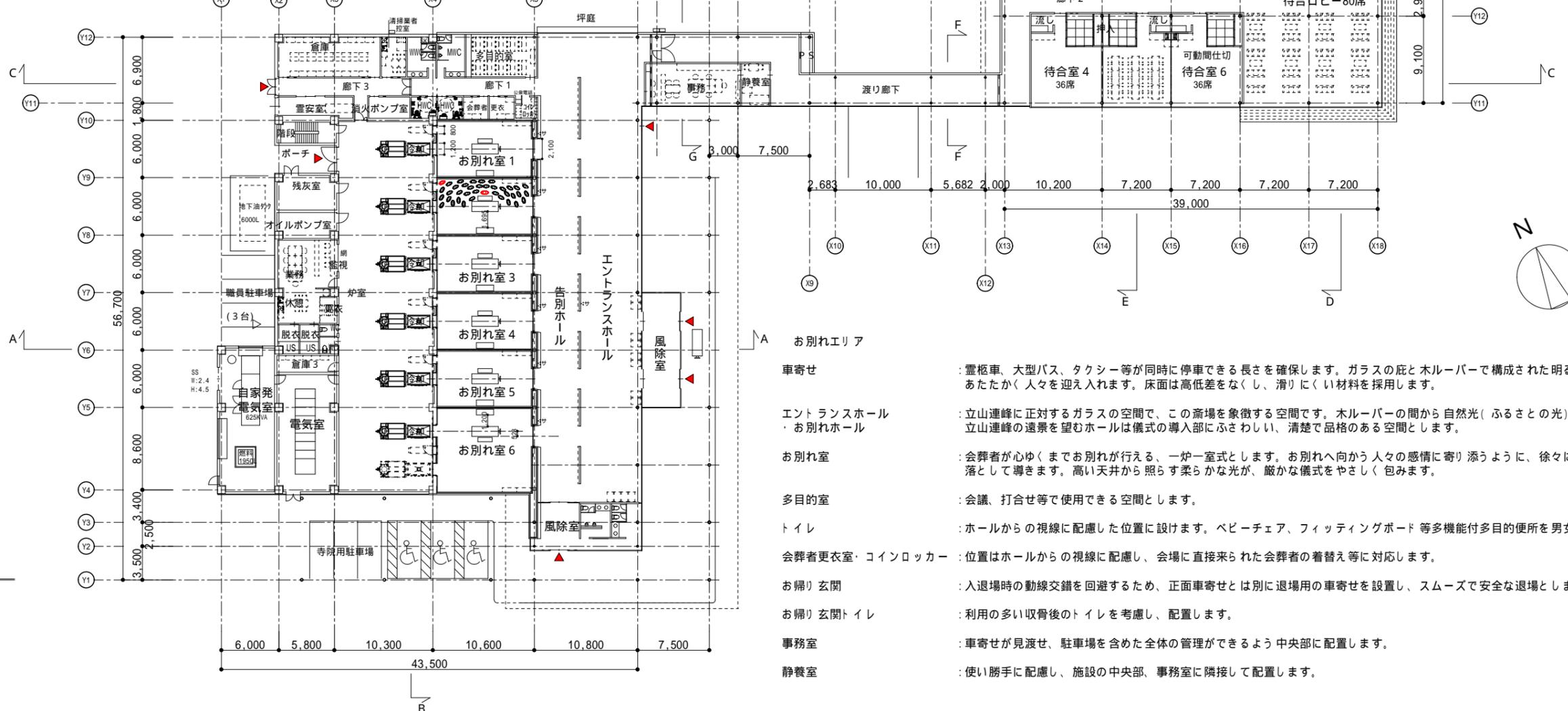


2 平面計画

2階 平面図



1階 平面図



待合エリア

- 渡り廊下 : 足元からのみの光の取り入れとし、廊下を歩き、「別れ・悲しみ」の空間から心を落ち着かせる空間とします。
- 待合室 : 1室、36席、6室を、待合エリア内の中庭を囲むように設け、内2室は可動間仕切りにより多人数の待合を可能とします。待合室には、高齢者や乳幼児に配慮して畳スペースを設置します。
- セレモニー業者控室 : 中庭を囲む回廊からの視線に配慮し、会葬者と動線がぶつからないよう、搬入動線を確保できる位置に設けます。
- トイレ : 回廊からの視線に配慮した位置に設けます。誰でも使いやすい多目的便所を2つ設け、内1つにはベビーチェア、フィッティングボード等に加え、多目的シートを設けます。
- キッズルーム・授乳室 : 待合室への音に配慮し、中庭に面して、キッズルーム・授乳室を設けます。
- フードコート : 自販機を設置し、飲食ができるカウンター席を設けます。
- 待合ロビー : 80席、TV・図書コーナーを設けます。また、風情豊かな庭園景観が望める位置に設け、射水平野の四季に囲まれた彩り豊かな潤いのある空間とします。
- 庭園 : 木々、空、光、風の動きにより変化する池を設け、心が落ち着きより射水の風土を感じられる空間とします。

お別れエリア

- 車寄せ : 霊柩車、大型バス、タクシー等が同時に停車できる長さを確保します。ガラスの庇とホルパーで構成された明るい空間が、あたたかく人々を迎え入れます。床面は高低差をなくし、滑りにくい材料を採用します。
- エントランスホール・お別れホール : 立山連峰に正対するガラスの空間で、この斎場を象徴する空間です。ホルパーの間から自然光(ふるさとの光)が差し込み、立山連峰の遠景を望むホールは儀式の導入部にふさわしい、清楚で品格のある空間とします。
- お別れ室 : 会葬者が心ゆくまでお別れが行える、一炉一室式とします。お別れへ向かう人々の感情に寄り添うように、徐々に光量を落として導きます。高い天井から照らす柔らかな光が、厳かな儀式をやさしく包みます。
- 多目的室 : 会議、打合せ等で使用できる空間とします。
- トイレ : ホールからの視線に配慮した位置に設けます。ベビーチェア、フィッティングボード等多機能多目的便所を男女それぞれ設けます。
- 会葬者更衣室・コインロッカー : 位置はホールからの視線に配慮し、会場に直接来られた会葬者の着替え等に対応します。
- お帰り玄関 : 入退場時の動線交錯を回避するため、正面車寄せとは別に退場用の車寄せを設置し、スムーズで安全な退場とします。
- お帰り玄関トイレ : 利用の多い収骨後のトイレを考慮し、配置します。
- 事務室 : 車寄せが見渡せ、駐車場を含めた全体の管理ができるよう中央部に配置します。
- 静養室 : 使い勝手に配慮し、施設の中央部、事務室に隣接して配置します。